

WebVPN と Cisco ASA 8.x インポート VNC プラグインの併用

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[手順 1 : VNC Java プラグインの取得](#)

[手順 2 : VNC プラグインのインポート](#)

[手順 3 : VNC 接続パラメータの定義 \(任意 \)](#)

[手順 4 : VNC サーバへの接続](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、WebVPN で使用する Virtual Network Computing (VNC) プラグインをインポートする方法について説明します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、基本 WebVPN が設定されていることを確認します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- ソフトウェア バージョン 8.0(2) および ASDM バージョン 6.0(2) が稼働する ASA 5510
- Windows 2003 Server (WebVPN 経由で VNC プラグインに接続するために使用)
- JRE 1.4.2_05-b04 がインストールされているクライアント デスクトップ
- TFTP サーバ (コマンド ライン経由でプラグインをインポートするために使用)

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

WebVPN を使用して VNC プラグインをインポートするには、次の手順を実行します。

1. [VNC Java プラグインを取得します](#)。
2. [VNC Java プラグインをインポートします](#)。
3. [VNC 接続パラメータを定義します \(任意\)](#)。
4. [VNC サーバに接続します](#)。

手順 1 : VNC Java プラグインの取得

VNC プラグインは、他のプラグインと同様に [Cisco Software Center](#) からダウンロードできます。VNC プラグインの詳細については、次の URL にアクセスして、参照してください。

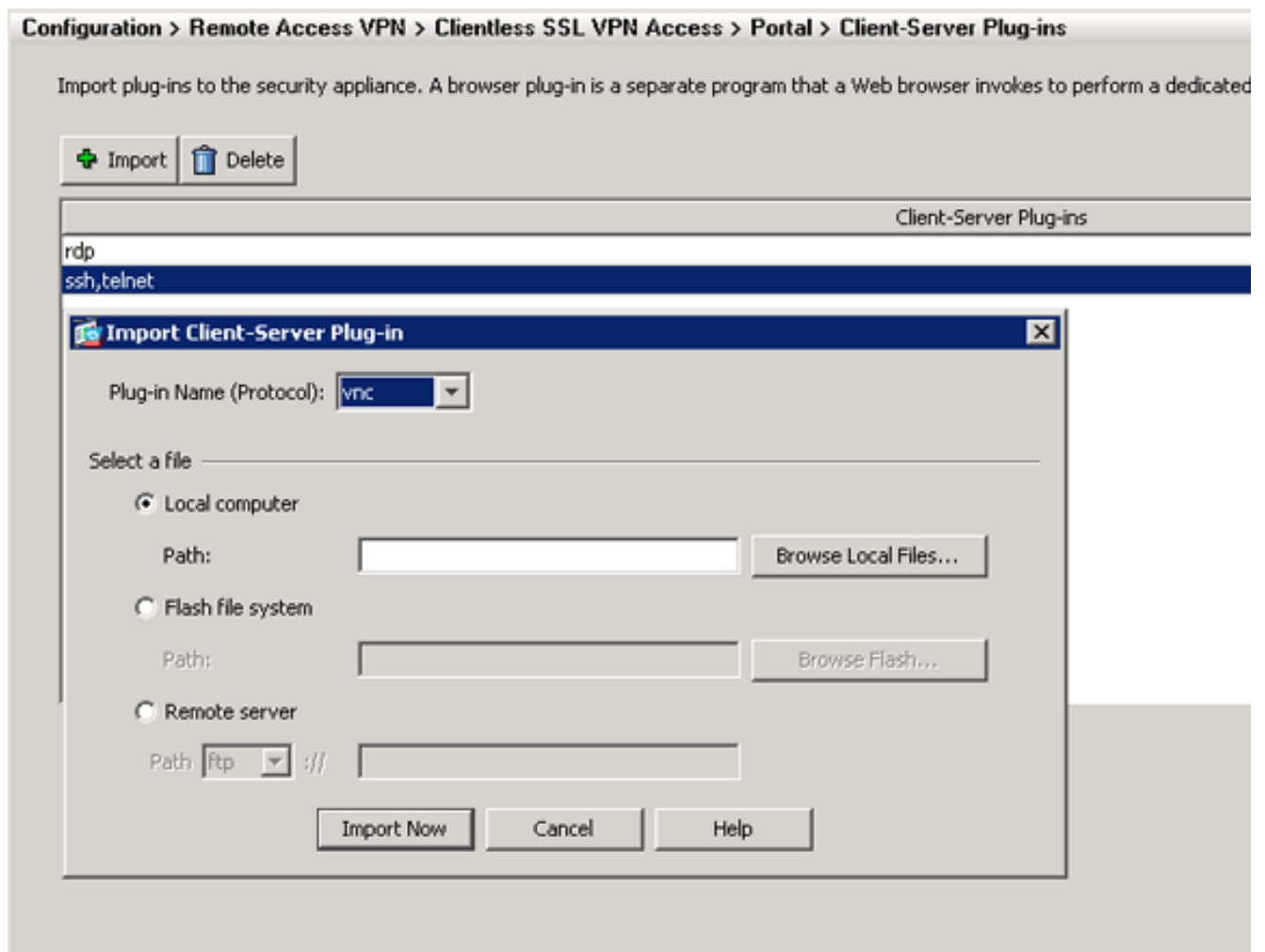
<http://www.tightvnc.com/>

注: VNC の Web サイト <http://www.tightvnc.com/> は、サードパーティのプロバイダーによって管理されます。Cisco では、そのコンテンツに関する責任を負いません。

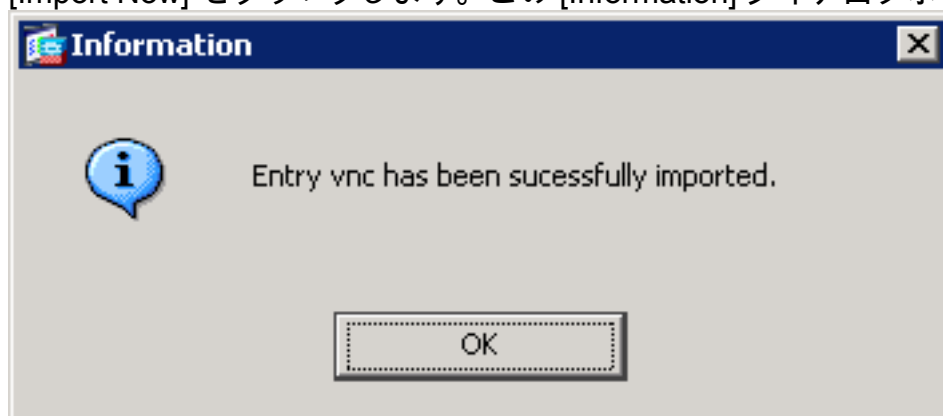
手順 2 : VNC プラグインのインポート

ASDM の例

1. ASDM アプリケーションで [Configuration] をクリックし、次に [Remote Access VPN] をクリックします。
2. [Clientless SSL VPN Access] を展開し、[Portal] を展開して、[Client-Server Plug-ins] をクリックします。
3. [Import] をクリックします。



4. [Plug-in Name (Protocol)] ドロップダウン リストから [vnc] を選択します。
5. [Local computer] オプション ボタンをクリックし、[Browse Local Files] をクリックします。
6. VNC プラグインを保存した場所を参照し、ファイルを選択します。
7. [Import Now] をクリックします。この [Information] ダイアログボックスが表示されます。



8. [OK] をクリックします。

コマンドラインの例

この例では、WebVPN プラグインをインポートするために TFTP が使用されます。

```
ciscoasa

ciscoasa#import webvpn plug-in protocol vnc
tftp://192.168.50.5/vnc-plugin.jar

!--- Use the import webvpn plug-in protocol command in
```


		[Address] フィールドに表示されるため、このパラメータは注意して使用する必要があります。代わりに、コマンドプロンプトでパスワードを入力することもできます。
View Only	yes/no	<p>キーボードおよびマウス イベントをリモート コンピュータに送信します。次のいずれかの値を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • no : デフォルト値。 • yes : デスクトップ ウィンドウのすべてのキーボードおよびマウス イベントは無視され、リモート側に送信されません。
Share Desktop	yes/no	<p>同じ VNC サーバ上の他のクライアントとの接続を共有します。正確な動作はその都度、サーバの設定によって異なります。使用できる値は「yes」(デフォルト値)と「no」(いいえ)です。</p>
port	数値	<p>デフォルト以外のポート番号を使用する場合は、このパラメータでポート番号を定義します。ポート番号は、URL の IP アドレスの直後に定義します(たとえば、</p>

		192.168.0.8:5600)。デフォルト の VNC ポートは 5900 です。
--	--	---

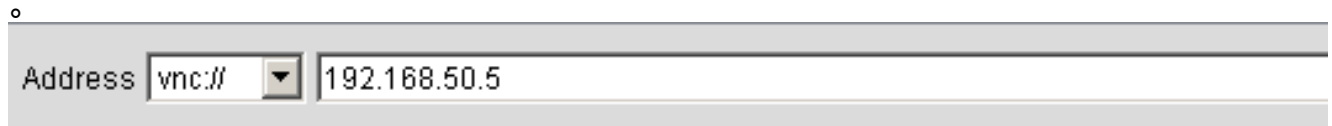
注: VNC サーバのブックマーク エントリの VNC 接続パラメータも使用できます。次の画像は VNC ブックマーク エントリの例を示しています。



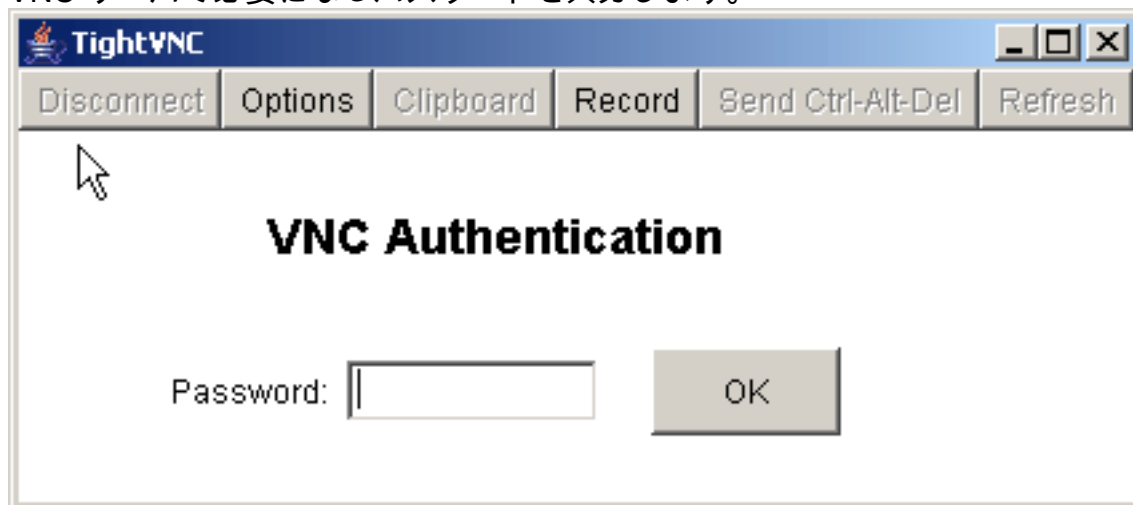
手順 4 : VNC サーバへの接続

VNC サーバに接続するには、次の手順を実行します。

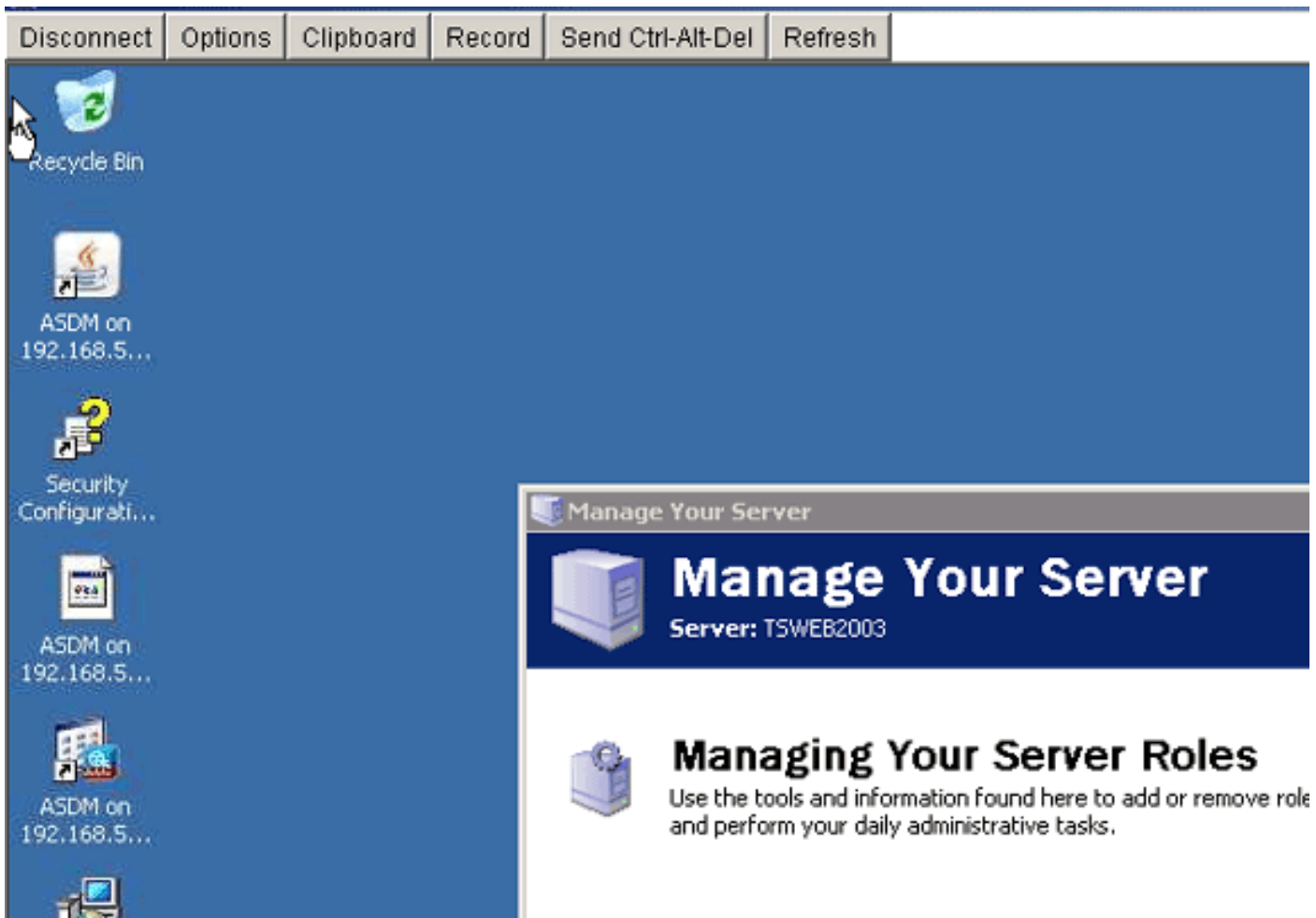
1. WebVPN セッションを確立し、[Address] ドロップダウン リストから [vnc://] を選択します。



2. VNC サーバの IP アドレスを入力し、[Browse] をクリックします。
3. VNC サーバで必要になるパスワードを入力します。



VNC セッションが新規ウィンドウに表示されます。



確認

このセクションでは、設定が正常に機能していることを確認します。

- **show import webvpn plug-in** コマンドは、現在の WebVPN プラグインを表示します。vnc が、コマンドの出力にリストされていることを確認します。
- WebVPN に接続したときに、[Address] ドロップダウン リストの URI のオプションとして [vnc://] が選択できる必要があります。

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ([登録ユーザ専用](#)) では、特定の **show** コマンドがサポートされています。OIT を使用して、**show** コマンド出力の解析を表示できます。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

- **ブラウザ キャッシュのクリア** この手順では、ブラウザのキャッシュに現在格納されているすべてのファイルを削除します。Internet Explorer で、[Tools] > [Internet Options] を選択します。[Temporary Internet Files] セクションで、[General] タブをクリックし、[Delete Files] をクリックします。
- **JRE キャッシュのクリア** この手順では、Java キャッシュに現在格納されているすべてのファイルを削除します。Windows で、[Start] をクリックし、[Settings] > [Control Panel] をクリックします。[Control Panel] で、[Java Plug-in] をダブルクリックします。[Cache] タブをクリックして、次に [Clear] をクリックします。

- **JRE のアンインストールおよび再インストール**Windows で、[Start] をクリックし、[Settings] > [Control Panel] > [Add or Remove Programs] をクリックします。[Java Runtime Environment] プログラムを選択して、[Remove] をクリックします。Java の Web サイト (<http://www.java.com/en/download/>) から新しい JRE をダウンロードし、新しい JRE をインストールします。
- **VNC プラグインのアンインストール**WebVPN にログインしたとき、Address フィールドの URI として VNC オプションがリストされていない場合、VNC プラグインをアンインストールしてから再インストールします。WebVPN から VNC プラグインを削除するには、次のいずれかの手順を実行します。WebVPN : [Configuration] > [Remote Access VPN] > [Clientless SSL VPN Access] > [Portal] > [Client-Server Plug-ins] の順に選択し、VNC プラグインを選択して [Delete] をクリックします。CLI - `revert webvpn plug-in vnc` コマンドを使用してプラグインを削除します。

関連情報

- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)